

学習展開例

対象校種：中学校 授業時間 100分



宮古島市立
下地中学校
教諭 座間味浩二

新着

戦争における国際法はなぜ破られ どういう悲劇を生んだのか

平和

時間配分	学習活動	教師の支援
5分	①第二次世界大戦の起因から終戦までの過程を学習する。	○教師が「戦争はなぜ起きて、どのようにして終わったのか」を説明する。 ※沖縄戦や広島、長崎の原爆投下、学習する都市爆撃にも触れる（どういう人たちがどのくらい犠牲になったのかなど）。
58分	②番組を視聴する。  視聴 さまざまな都市の航空写真。爆撃目標エリアが円で囲まれ、そこに焼夷弾を確実に落とし、全てを焼き払う。  東京大空襲犠牲者の追悼集会。無防備の市民が都市爆撃によって殺された。  東京と富山で二度の空襲を受けた中山伊佐男さん。母と妹の死を目の当たりにした。  爆撃エリア内に民家があり、エリア外に軍事工場があることから、市民を標的としているのがわかる。	○次の点に注意して視聴させる。 ・都市爆撃とはどのような計画だったのか。 ・なぜ、都市爆撃は実行されたのか。 ・爆撃された都市で生き残った人の証言。 ・加害者の証言。 ※上記の点についてメモをとりながら視聴する。
30分	③戦争における国際法について調べる。 ④「都市爆撃は実施すべき」という立場と、「実施すべきでない」という立場に分かれてディベートする。	○調べ学習は、インターネットや図書を使って行わせる。 ○ディベートの立場は、教師が機械的に学級を二分して指定する。
7分	⑤都市爆撃について自分はどうか考えるかを話し合う。	○生徒から意見がなければ、国際法には「犠牲者の保護」「戦闘方法・兵器を規制」するルールがあることを伝える。 ○現在国際法を犯している紛争や戦争があることにも触れる。